

# 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年11月7日

santec Holdings株式会社 上場会社名

上場取引所 東

コード番号

代表者

6777 URL https://www.santec.com/jp

(役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鄭 元鎬

(氏名) 山下 英哲

TEL 0568-79-3535

半期報告書提出予定日

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

2025年11月14日

配当支払開始予定日 2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	i	営業利	<del></del>	経常利	<del></del>	親会社株主に 中間純和	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	12, 778	6. 5	4, 119	6. 6	4, 249	9. 0	3, 058	14. 6
2025年3月期中間期	11, 997	56. 9	3, 865	120. 5	3, 899	74. 7	2, 669	66. 9

(注)包括利益 2026年3月期中間期

3,231百万円 (16.8%)

2025年3月期中間期

2,767百万円 (34.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円銭	円 銭
2026年3月期中間期	260. 03	_
2025年3月期中間期	226. 97	_

### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2026年3月期中間期	31, 974	23, 012	72. 0	1, 956. 79
2025年3月期	29, 527	21, 428	72. 6	1, 822. 06

(参考) 自己資本

2026年3月期中間期

23,012百万円

2025年3月期

21.428百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭		
2025年3月期	_	70. 00	_	140. 00	210. 00		
2026年3月期	-	75. 00					
2026年3月期(予想)			_	75. 00	150.00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26, 000	8. 2	7, 400	△0.4	7, 200	△8.7	4, 800	△5.3	408. 15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 有

新規 1社 (社名) MOG LABORATORIES PTY LTD、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	11, 961, 100株	2025年3月期	11,961,100株
2026年3月期中間期	200, 664株	2025年3月期	200, 637株
2026年3月期中間期	11, 760, 441株	2025年3月期中間期	11, 760, 499株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「 1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2025年11月7日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

# ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1)中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

### 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 当中間期の経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	前年同期	北増減
売上高	11, 997	12,778	781	6.5%
営業利益	3, 865	4, 119	254	6.6%
経常利益	3, 899	4, 249	349	9.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2, 669	3, 058	388	14.6%

当中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の世界情勢は、7月下旬の日米間の合意を踏まえ米国の関税措置の影響の不確実性は一定解消しましたが、米中貿易摩擦、ロシア・ウクライナ情勢及び中東情勢の長期化、為替の不安定な変動など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは2026年3月期の基本方針として「高付加価値の新製品開発と市場牽引」 を掲げ、事業活動に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は12,778百万円(前中間期比6.5%増)となりました。これは、光モニタの販売及び光通信用光測定器のうちコネクタ付光ファイバーケーブル検査装置の販売が好調に推移したことによるものです。

営業利益は4,119百万円(同6.6%増)、為替差損の減少により、経常利益は4,249百万円(同9.0%増)となりました。事業子会社の増資に伴い法人税の見積実効税率が低下したことにより税金費用が抑制され、親会社株主に帰属する中間純利益は3,058百万円(同14.6%増)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりです。

#### ① 光部品関連事業

(単位:百万円)

_			\ \ 1	
	前中間期	当中間期	前年同期	比増減
売上高	1, 519	2, 712	1, 193	78.5%
セグメント利益	101	698	596	584.8%

当事業では、主に光伝送機器メーカーに対して光モニタ、光アッテネータ、光フィルタ等の光通信用部品を提供しております。また、LCOS技術を利用した空間光変調器を光計測、光加工、光情報処理分野に提供しております。

昨年度の在庫調整期に比べて需要が大幅に回復し、特に光モニタの売上が好調に推移したことにより、当中間連結会計期間の売上高は2,712百万円(前中間期比78.5%増)となりました。セグメント利益は698百万円となり、前年同期のセグメント利益101百万円と比べ584.8%増益となりました。

#### ② 光測定器関連事業

(単位:百万円)

-	前中間期	当中間期	前年同期	比増減
売上高	9, 643	9, 295	△348	△3.6%
セグメント利益	3, 721	3, 370	△351	$\triangle 9.4\%$

当事業には、光通信用光測定器事業、産業用光測定器事業、医療用光測定器事業が含まれております。光通信用光測定器の販売が好調に推移した一方で産業用光測定器の販売が低調に推移し、当中間連結会計期間の売上高は9,295百万円(前中間期比3.6%減)となりました。セグメント利益は3,370百万円となり、前年同期のセグメント利益3,721百万円に比べて9.4%減益となりました。

光通信用光測定器につきましては、中国において前年度の光学特性検査装置の特需からの反動により販売が減少した一方で、特に北米でコネクタ付光ファイバーケーブル検査装置の需要が堅調であり、全体として販売が好調に推移しました。

産業用光測定器につきましては、世界的なシリコンウエハの在庫調整の影響により、半導体用シリコンウエハの検査装置の販売が低調に推移しました。

医療用光測定器につきましては、米国を中心とした光学式眼内寸法測定装置(製品名:ARGOS®)の販売が前年度並みで推移しました。

なお、2025年7月1日に買収したMOG LABORATORIES PTY LTDの損益は、本セグメントの産業用光測定器にて当第2四半期(2025年7月1日から2025年9月30日まで)から計上しております。

今後の見通しにつきましては、以下のとおりです。

光部品関連事業につきましては、顧客の在庫調整の一巡に伴い、光部品に対する需要が前期に比べて好調に推 移するものと見込んでおります。

光通信用光測定器事業につきましては、データセンタ向けの設備投資が引き続き堅調に推移し、国内外の光伝送機器メーカー等からの引き合いは底堅く推移するものと見込んでおります。

産業用光測定器事業につきましては、半導体用シリコンウエハの製造にかかる設備投資の一服に伴って需要は 落ち着く一方で、工業計測用及び医療用の光源の需要は底堅く推移するものと見込んでおります。

医療用光測定器事業につきましては、需要が引き続き安定的に推移するものと見込んでおります。

その他の事業のシステム・ソリューション事業につきましては、ランサムウェア対策ソフトウェアの受注が底堅く推移するものと見込んでおります。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(29,527百万円)に比べ2,447百万円増加し、31,974百万円となりました。これは主に、今後の生産・出荷に備えるための原材料をはじめとした棚卸資産の増加、カナダにおいて新工場を取得したことによる土地及び建設仮勘定の増加、MOG LABORATORIES PTY LTDを買収したことによるのれんの増加によるものです。

### 2 負債

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末(8,099百万円)に比べ862百万円増加し、8,962百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の仕入債務の増加、長期借入金が増加したことによるものです。

#### ③ 純資産

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末(21,428百万円)に比べ1,584百万円増加し、23,012百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日に開示したものから修正はありません。

# 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12, 539, 970	12, 877, 856
受取手形、売掛金及び契約資産	4, 505, 976	4, 118, 310
電子記録債権	59, 801	114, 634
商品及び製品	765, 163	917, 580
仕掛品	625, 661	653, 441
原材料	1, 030, 086	1, 841, 391
その他	750, 215	817, 565
貸倒引当金	△8, 817	△8, 780
流動資産合計	20, 268, 057	21, 332, 002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1, 300, 226	1, 298, 572
機械装置及び運搬具(純額)	58, 058	50, 150
土地	2, 765, 916	3, 154, 893
リース資産(純額)	39, 295	45, 479
建設仮勘定	6, 456	353, 966
その他(純額)	920, 644	1, 043, 042
有形固定資産合計	5, 090, 597	5, 946, 105
無形固定資産		
のれん	618, 982	953, 239
その他	355, 995	296, 977
無形固定資産	974, 977	1, 250, 216
投資その他の資産		
投資有価証券	2, 591, 694	2, 925, 167
長期貸付金	159, 902	155, 144
その他	442, 142	366, 128
投資その他の資産合計	3, 193, 739	3, 446, 440
固定資産合計	9, 259, 315	10, 642, 762
資産合計	29, 527, 373	31, 974, 764

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737, 180	878, 420
電子記録債務	731, 304	999, 81
1年内返済予定の長期借入金	497, 508	637, 50
未払法人税等	1, 088, 957	1, 390, 15
賞与引当金	333, 097	352, 40
役員賞与引当金	184, 705	110, 46
その他	1, 651, 903	1, 356, 24
流動負債合計	5, 224, 656	5, 725, 01
固定負債		
長期借入金	2, 220, 102	2, 496, 35
退職給付に係る負債	32, 525	33, 62
資産除去債務	37, 448	37,70
その他	584, 429	669, 37
固定負債合計	2, 874, 505	3, 237, 06
負債合計	8, 099, 161	8, 962, 08
純資産の部		
株主資本		
資本金	4, 978, 566	4, 978, 56
資本剰余金	1, 209, 465	1, 209, 46
利益剰余金	14, 231, 221	15, 642, 02
自己株式	△97, 866	△97, 97
株主資本合計	20, 321, 386	21, 732, 07
その他の包括利益累計額		<u> </u>
その他有価証券評価差額金	477, 053	548, 56
為替換算調整勘定	629, 771	732, 04
その他の包括利益累計額合計	1, 106, 824	1, 280, 60
純資産合計	21, 428, 211	23, 012, 68
負債純資産合計	29, 527, 373	31, 974, 76

# (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

(単位:千円) 当中間連結会計期間 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 (自 2025年4月1日 2024年9月30日) 2025年9月30日) 至 至 売上高 11, 997, 515 12, 778, 567 売上原価 5, 166, 649 5, 404, 665 売上総利益 6,830,865 7, 373, 901 販売費及び一般管理費 2, 965, 483 3, 254, 017 営業利益 3, 865, 382 4, 119, 884 営業外収益 受取利息 129, 948 145, 918 受取配当金 6,014 5,690 受取賃貸料 32, 220 24, 345 複合金融商品評価益 8, 249 18,091 その他 29, 568 38, 446 営業外収益合計 215, 844 222,650 営業外費用 支払利息 3,213 9, 184 為替差損 153, 849 65, 459 賃貸不動産関係費用 22,600 15, 475 3, 316 その他 1,841 営業外費用合計 181, 505 93, 435 4, 249, 099 経常利益 3, 899, 721 特別利益 固定資産売却益 344 投資有価証券売却益 8, 134 32, 924 投資有価証券償還益 特別利益合計 8, 134 33, 268 特別損失 0 固定資産除却損 0 530 投資有価証券売却損 特別損失合計 530 0 税金等調整前中間純利益 3, 907, 325 4, 282, 368 法人税等 1, 238, 030 1, 224, 299 中間純利益 2,669,294 3, 058, 068 親会社株主に帰属する中間純利益 2,669,294 3, 058, 068

# (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

		(七位・111)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2, 669, 294	3, 058, 068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	392, 652	71, 511
為替換算調整勘定	△294, 607	102, 272
その他の包括利益合計	98, 044	173, 784
中間包括利益	2, 767, 339	3, 231, 853
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2, 767, 339	3, 231, 853
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

# (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2025年4 至 2024年9月30日) 空業活動によるキャッシュ・フロー 税金等調整前中間純利益 3,907,325 減価償却費 278,089 のれん償却額 48,048 退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4月1日
室 2024年9月30日)     至 2025年9       営業活動によるキャッシュ・フロー 税金等調整前中間純利益     3,907,325 減価償却費       のれん償却額     48,048       退職給付に係る負債の増減額(△は減少)     △6,488       賞与引当金の増減額(△は減少)     78,161       役員賞与引当金の増減額(△は減少)     36,198       貸倒引当金の増減額(△は減少)     △177       受取利息及び受取配当金     △135,963       支払利息     3,213	9月30日) 4,282,368 295,959 51,390 1,052 18,939 △74,237
営業活動によるキャッシュ・フロー       3,907,325         税金等調整前中間純利益       3,907,325         減価償却費       278,089         のれん償却額       48,048         退職給付に係る負債の増減額(△は減少)       △6,488         賞与引当金の増減額(△は減少)       78,161         役員賞与引当金の増減額(△は減少)       36,198         貸倒引当金の増減額(△は減少)       △177         受取利息及び受取配当金       △135,963         支払利息       3,213	4, 282, 368 295, 959 51, 390 1, 052 18, 939 △74, 237
税金等調整前中間純利益 3,907,325 減価償却費 278,089 のれん償却額 48,048 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) △6,488 賞与引当金の増減額(△は減少) 78,161 役員賞与引当金の増減額(△は減少) 36,198 貸倒引当金の増減額(△は減少) △177 受取利息及び受取配当金 △135,963 支払利息 3,213	295, 959 51, 390 1, 052 18, 939 △74, 237
減価償却費 278,089 のれん償却額 48,048 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) △6,488 賞与引当金の増減額(△は減少) 78,161 役員賞与引当金の増減額(△は減少) 36,198 貸倒引当金の増減額(△は減少) △177 受取利息及び受取配当金 △135,963 支払利息 3,213	295, 959 51, 390 1, 052 18, 939 △74, 237
のれん償却額	51, 390 1, 052 18, 939 △74, 237
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1, 052 18, 939 △74, 237
賞与引当金の増減額(△は減少) 78,161 役員賞与引当金の増減額(△は減少) 36,198 貸倒引当金の増減額(△は減少) △177 受取利息及び受取配当金 △135,963 支払利息 3,213	18, 939 △74, 237 —
役員賞与引当金の増減額(△は減少) 36,198 貸倒引当金の増減額(△は減少) △177 受取利息及び受取配当金 △135,963 支払利息 3,213	△74, 237 —
貸倒引当金の増減額(△は減少) △177 受取利息及び受取配当金 △135,963 支払利息 3,213	_
受取利息及び受取配当金△135, 963支払利息3, 213	
支払利息 3,213	$\triangle 151,608$
V +b >6   H ) V ( A > 2 ) V )	9, 184
為替差損益 (△は益) 12,934	2, 216
複合金融商品評価損益 (△は益) △18,091	△8, 249
投資有価証券売却損益 (△は益) △7,604 △7,604	
投資有価証券償還損益(△は益)	△32, 924
固定資産売却損益(△は益)	△344
固定資産除却損 0	0
売上債権の増減額(△は増加) 1,397,472 棚卸資産の増減額(△は増加) △4,581	394, 933
棚卸資産の増減額(△は増加) △4,581 仕入債務の増減額(△は減少) △188,893	$\triangle 631,048$ $408,300$
大人債務の増減額 (△は減少)	$\triangle 73, 237$
その他	$\triangle 313, 522$
小計 5,013,821	4, 179, 173
利息及び配当金の受取額 134,386	142, 489
利息の支払額	$\triangle 9, 184$
法人税等の支払額	△826, 364
営業活動によるキャッシュ・フロー 3,500,032	3, 486, 113
投資活動によるキャッシュ・フロー	0, 100, 110
定期預金の預入による支出 △155,326	△924, 357
有形固定資産の取得による支出 △1,391,026	△985, 030
無形固定資産の取得による支出	△8, 663
有価証券及び投資有価証券の取得による支出 △104,191	△281, 312
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による	
収入	146, 150
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△685 <b>,</b> 833
貸付金の回収による収入 3,913	3, 985
その他 1,446	△139, 851
	$\triangle 2, 874, 914$
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	700, 000
長期借入金の返済による支出 △129,716	$\triangle 283,752$
配当金の支払額 △585,085	$\triangle 1,647,961$
自己株式の取得による支出	△111
リース債務の返済による支出 △30,058	$\triangle 31,951$
財務活動によるキャッシュ・フロー △744,860	$\triangle 1, 263, 776$
現金及び現金同等物に係る換算差額 △206,445	78, 566
現金及び現金同等物の増減額(△は減少) 1,120,465	△574, 010
現金及び現金同等物の期首残高 9,373,250	12, 647, 928
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17, 199
現金及び現金同等物の中間期末残高 10,493,716	12, 091, 118

# (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				中間連結
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計	その他 (注1)	損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1, 519, 241	9, 643, 875	11, 163, 116	834, 398	11, 997, 515
セグメント間の内部売上高又は振替高	_	_	_	_	_
計	1, 519, 241	9, 643, 875	11, 163, 116	834, 398	11, 997, 515
セグメント利益	101, 933	3, 721, 705	3, 823, 639	41, 743	3, 865, 382

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。
  - 2 セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				中間連結
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計	その他 (注1)	損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2, 712, 244	9, 295, 230	12, 007, 475	771, 092	12, 778, 567
セグメント間の内部売上高又は振替高	_	_	_	_	_
計	2, 712, 244	9, 295, 230	12, 007, 475	771, 092	12, 778, 567
セグメント利益	698, 080	3, 370, 160	4, 068, 241	51, 643	4, 119, 884

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。
  - 2 セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「光測定器関連事業」セグメントにおいて、MOG LABORATORIES PTY LTDの株式取得により、のれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において、223,691千円であります。(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。